

# 道徳通信

No.19 2023年(令和5年)2月1日(水)



学習日：1月26日(木) 内容：「書かれなかった遺書」

毎年8月12日になると、事故の遺族が、群馬県の御巢鷹山登山を行っている。亡くなった520人の1人1人にさまざまな人生があったであろうし、その520人に関わるさらに多くの人々にも、言葉に尽くせない悲しみがあったに違いない。最愛の娘を亡くした母親が悲しみを乗り越え、娘が生前お世話になった人の家族を励まし、共に支え合って生きていこうとする。娘を亡くした母親の心情を深く理解し、自分の人生に活かしてほしい。

## 【生徒の考え】 授業後に考えたこと、感じたこと

今この瞬間を楽しみ、おじいちゃん、おばあちゃん、家族、友達との関わりを大切にしようと思いました。この生きている時間を大切にしていきたいと思います。思い出をたくさんつくり、後悔しないように日々を生きていこうと思いました。

今、家族や友達、クラスの人が生きていることを当たり前だと思わず、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

今ある平和な日常が毎日続くわけじゃない。だからこそ、平和な今に感謝して生きていくことが大事だと思う。

相手のことを思ったり、「もっと〇〇しておけばよかった」と思わないような接し方をこれからもしていこうと思いました。

人はいつ亡くなるか分からないから、日頃から誰に対しても感謝の気持ちを伝えないといけないと思いました。

突然、死んでしまうときもあるのだから、今を大切にしていこうと思いました。

自分が当事者だったら、なぜ、自分の知り合いが死ななければいけないのかとってしまうと思う。

航空機の事故率は0.0009%と言われていています。事故率は極めて低いですが、全く事故がないわけではありません。また、事故の起こる確率は歩いていた場合や自動車に乗っていた場合などあげるときりがありません。この事実を「こわい」と感じるのも当然ですが、少し見方を変えて、「だからこそ、一日一日を無事に過ごせることが尊い」と考えてみませんか。すると、一日一日の過ごし方が変わってきます。つまり、「時は金なり」とはお金の話ではないということです。考えてみて下さい。